

2013年4月・カンボジア日記



2013年4月、SKO孤児院にて

今年もカンボジアの支援活動に大西副理事長と共に行って参りました。

カンボジア支援活動も今回で13回目、今までは他の団体の活動を主催させて頂いておりましたが、今回からはNPO法人「アジア子供輝基金」としての第一回目の活動となりました。

ご理解・ご支援・ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

こうして活動出来るのも全てはご理解・ご支援・ご協力して頂ける皆様のお蔭です。

心より感謝致します。これからは現地レポート「カンボジア日記」として支援活動の

ご報告も兼ねて書かせて頂こうと思います。文章力・人間力無き故、不可解な事や気分を害される事もあるかと思いますが、決して悪気はございません。

私が見たまま、感じたままを書かせて頂きますが全ては私個人の見解と捉えて頂ければ

幸いです。4月16日の夜に関空のホテルに泊まり朝8時半に空港でチェックイン

ベトナム航空の飛行機に乗り5時間半でホーチミン空港へ、アジア子供輝基金の代表である

倉橋文雄氏と合流、そこで乗継で1時間半ほど待つてさらに1時間半ほど飛行機に乗って

カンボジアのプノンペン空港着、夕方の5時半でした。(日本時間は夜の7時半)

そこから車で活動拠点のバタンバンまで車で移動で7時間半・・・

普段は5時間半ほどで着くのだがカンボジアは旧正月の明けの日だったので

渋滞などで遅れに遅れ・・・この日は移動だけでした。さすがに疲れました。

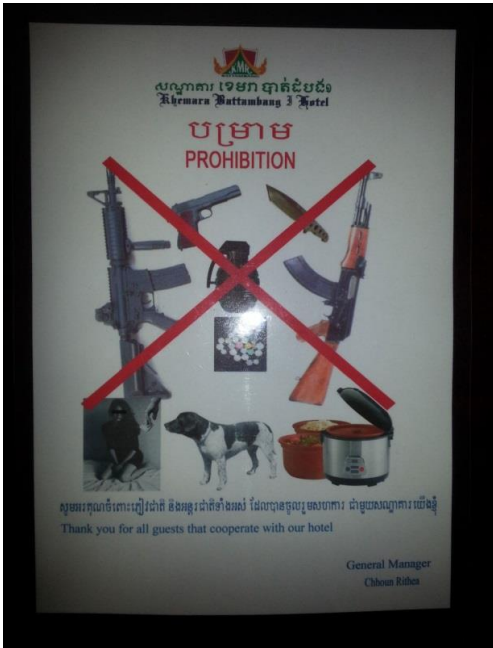
今度からはプノンペンかシェムリアップで一泊してからにしましょう。



宿泊しているホテルにて

ホテルの部屋です。結構綺麗です。
私達の活動拠点は主にカンボジアのバタンバン州と言う所がメインです。カンボジアでも二番目に人口が多いと言われている地域ですが、首都や観光地のように近代化されて来ている町とは少し違い、タイ国境付近に近く、過去の内戦時カンボジアからタイへ逃げて難民となっていた人々が多く住んでいる所で、カンボジアの国民からは、自分達だけ国を捨てて逃げて行ったとして、差別を受けている地域

とも言われていますが、私でもし、非戦闘員で同じ立場なら確実に逃げています。



ホテルの部屋にて

カンボジアは社会主義国・・・部屋に貼ってある。と・・・言う事は持っている人がいると言う事、改めて身の危険を感じる・・・
先日、カンボジアで日本人が強盗にあつて殺されたました。気を引き締めて行かないと、と改めて思いました。
かといって、危険な目にあつた事はありません、どこの国にでもいい人もいれば悪い人もいます。自分自身が気を付けていても、どうしても無い事も起こったりします。

気にしては何も前には進みません

と、言う事で初日は過ぎてしまいました。カンボジアでは8月に首相の選挙があるそうですが現在の首相フンセンがまた来期を務めるとの事・・・もう決まっているそうです・・・

みんな知っています、出来レースである事を・・・そして政権が変わったらこれ以上に悪くなる可能性がある事も・・・反勢力のトップはアメリカに亡命しているそうです。

選挙期間中に内戦やテロが起こらない事を心より願います。約30年前のポルポト政権時代のような事にだけはなって欲しくありません。ただただ平和を願います・・・



4月18日、この日は朝からカンボジアでお世話になっているNGO団体BFDの本部へ、国道にはアスファルトが敷かれています。少し枝道に入ればそこはデコボコの赤土の道路。まだまだアスファルトの道路になるには時間が掛かりそうです・・・

本部に着いてさっそく会議をしました。今年は大西副理事長が寄付金を出されカンボジアの



NGOのBFD本部にて

バタンバン州に産婦人科が建設される事が決定しています。

毎年、4月には大西副理事長と共にカンボジア政府関係者と現地NGOのBFDと共に現地視察や値段交渉を行っています。

今回は、代表である理事長の

倉橋文雄氏も一緒にカンボジアの

支援活動にやって来ました。

ちょっと中に入ると道はこんな感じです。

雨が降ったら最悪ですが・・・

これが普通の道です。日本では

ほとんど見る事はありません。

昭和初期ぐらいは日本もこんな

感じだったのでしょか・・・





バタンバン州にある診療所にて

病院に到着

病院といってもたいした設備は何も無い・・・

単なる診療所ですね。

ここに産婦人科が「必要」との事ですので
建設されることが決定致しました。

人の命を扱う所としてはあまりにも
お粗末な状況です。私がおもし病気に

なったらこの国で生きて行けるかどうか

本当に考えさせられます。カンボジアの国の医療と医療設備の発展を心より願います。



産婦人科建設予定地にて

右がカンボジアの現地NGO団体
BFDの代表・ヘンモニチェンダ氏
カンボジアの内戦を終わらせる為に
政府軍とポルポト率いるクメール
ルージュ軍の仲裁役となった
カンボジア伝説の元僧侶です。

左がNPO法人アジア子供輝基金
代表・倉橋文雄氏です。



ホワイトローズにて

バタンバンの町中に戻って昼食
写真の女の子はいつも通訳をして
くれているソムニアンちゃんです。

とっても面倒見の良い責任感の

強い子です。今回も色々彼女には

助けられました・・・ニャンちゃんと私達は

呼んでいます。普段は学校の

講師をしています。今年は日本に留学して
もっと日本の事を勉強するそうです。

そして、毎度お馴染み私の兄弟分
ブン・ソティアです。

現地NGO団体BFDの幹部です。





その後、現地の貧しい村を回って
生活の保護や道徳的な事を
指導して下さっている尼様の所へ
カンボジアの国は仏教国です。
お坊様や尼様の言われる事は
皆さんよく聞かれます。



11月に行われるスタディーツアーの
時には、尼様と一緒に貧しい村を
廻り、貧困家庭への支援活動も
行われています。

無償の愛で人々の為に実践して
普段活動されている尼様に
お米や寄付金が配られました。
これからも頑張ってください。



カンボジアの明るい未来の為に・・・
そして、隣にあるNVTCノリア職業訓練
学校へ代表の倉橋氏、ご挨拶です。
ここは故、堀本崇氏が設立された職業
訓練学校です。工業用ミシンで服や
小物などを作っています。



孤児や貧しくて学校に行く事が出来な
かった女性に手に職を付けて自立出来る
ようにする為の施設です。が、現在は
BFDが管理してくれていますが実情は
とても厳しい・・・

と、言う事で支援金が配られました。
いつの日か自分達の力で自立して
生活を送れる日が来ることを私達は
心より願っています・・・



そして部屋に帰って夕食まで休憩・・・
 のつもりがブンが部屋に押しかけ・・・
 二人で宴会(笑)彼との付き合いも
 もう古い、2005年に初めて
 カンボジアの国を訪れてからの付き
 合いなので8年になります。彼と私は
 同じ歳です。毎回、私達の活動に同行
 してくれます。お小遣いをネダるのが
 たまにキズ(笑)ブンが警察官の免許も
 持っている元軍人でもあります。
 現在、裁判官になる為、勉強中との
 事でした。夢を叶えて欲しい・・・
 心からそう思います。がんばれBUN!



4月19日、この日は待ちに待ったSKO孤児院に行きました。到着すると子供達が
 飛びついてきます。本当に嬉しい・・・子供服を寄付して下さった日本の心優しい皆様
 子供達は大変喜んでおりました。一人の女の子は長袖の服がよほど気に入ったようで
 暑いやろ？脱いどきと言ってもずっと羽織ってました。本当にありがとうございました。
 そして個人的に支援金の寄付を下された皆様、本当にありがとうございました。
 ドルに換えてSKOの運営費の寄付金として渡しておきました。心より感謝致します。



午前中は日本から持っていった
かき氷機でかき氷を作って
子供達は大喜びでした。

シロップを日本から買って持って
行くのですが、重たいので大変です。
が、子供達の笑顔が見れるならと
去年の11月からのお楽しみです。

カンボジアにはかき氷屋さんが無い
と思っていたのですが、有るようです。
ただ、イチゴやレモンやメロンと言った
シロップはありません。カンボジアで
かき氷屋さんをすれば少しは
SKOの運営費になるかなと思って
いましたが、まだリサーチ不足です。
今後の課題となりました。



SKOの卒業生の女の子ですが
な・なんと！！結婚するんです！！
私達が来るのを知って旦那さんになる
男子が挨拶しに来てくれました。
彼女はスレイちゃんと言います。
彼女も長い間、この施設で育ち
ました・・・初めて会った時は
まだまだ小さかったのに・・・(涙)



娘を取られる心境で複雑・・・(笑)本当におめでとう、幸せになって下さい。そして、
ちゃっかり祝儀も取られました。(笑)こうして幸せなってくれる事を心より願います。
子供の頃にこれだけ苦労して育てて来た子供達です。日本は幸せです、少なくとも生まれ
ながらにして親から沢山の愛情をもらい、飢える事も無く、病気になったら病院に行けて
薬も買うことが出来、雨風を凌ぐ事が出来る家もあり、普通に学校へも行かせてもらえて
教育を受ける事も出来ました・・・これを幸せと言わずして、何が幸せと言えよう・・・



支援金で買わせて頂いたお米が届きました！子供達は降ろすのをいっせいに手伝います。自分達の食糧ですもんね。50キロ×15袋で750キロ！凄い量のお米だと思われませんがこれが半年で無くなります・・・カンボジアでもお米は主食です。

毎日ご飯が食べられるだけでも有難い事ですが、普段の食事は本当に質素です。道に生えている草や畑をしているので、そこでとれた野菜などが主です。肉なんて私達が行って買ってきた時ぐらしか食べる事が無いようでまだまだ支援が足りないのが現状ですが、私達だけの活動では限界があります。皆様のご理解・ご支援・ご協力があるからこそ継続していける事です・・・すべては皆様のお蔭です。



小さな子供を連れて市場に買い物に行きました。普段はあまり口にする事の無い果物を買に行きました。結構珍しい果物もあつたりします。ドリアンなんかもあります。私はさすがに・・・(笑)それでも高級食材ですよ。子供達は結構好きようです。15キロ分色々な果物を買いました。子供達は大喜びです。普段食べる事が出来ないのここぞとばかり(笑)そんな子供達が喜んでいる姿を見てやっぱり来てよかったな・・・いつもそんな気持ちにさせられます。純粹で素直な子供達・・・



君たちの笑顔が見たいから私達は頑張れる！頑張るんです。本当に笑顔をありがとう・・・



市場の買い物から戻って来て、女の子は昼食の準備のお手伝い、男の子も火を起こしたりしてましたが、ちょっとお遊び(笑)スマートフォンを見せたら興味深々！そりゃそうでしょうカンボジアでは高価なのでとても子供達では買うことが出来ません。いじくり倒されて電池が無くなりました！(笑)いつか自分の力でお金を貯めて買える日が来るとイイね。



鳥の丸焼き買ってきてさばいてみんなで昼食タイム！大西会長の話を聞いてから頂きます！お昼からは子供達を連れて市場にショッピングに行きました。一人の予算は15ドル大きい子と小さな子をペアにさせて買い物をさせます。これも教育の一環です。日本人はついて行かない方が良いですよ。ほったくりに合いますので要注意です！(笑)



夕食は子供達とSKOの関係者と共にレストランで食事です。大西副理事長のオゴリでした(笑)子供達も年に2回の事なんで大喜びです。レストランで食事をするなんて子供達にとっては夢のような出来事なんです。日本では当たり前のように行われて



レストランにて

いる事でもカンボジアでは当たり前
ではないのです。やはり連れてきて
本当に良かったと思います。

このはしゃぎようを見て頂ければ
ご納得されるかと・・・(笑)

とっても楽しい一日を過ごさせて頂き
とっても幸せでした。前のカンボジア

日記にも書かせて頂きましたが、

SKO孤児院はNPO法人アジア子供教育基金の代表であった故・堀本崇氏が運営支援をして
いた施設です。2006年に堀本氏がカンボジアにて交通事故でお亡くなりになりました。

SKOの運営資金支援をしていたのは堀本氏の団体のみ、他の団体などの運営資金支援は
ありませんでした。そこで、別の団体を通じて運営支援のお手伝いをさせて頂いて来たの
ですが、今年から、その資金は出せないと言う事になり大西副理事長がこのままでは
いけない！と、言う事で急遽NPOを立ち上げて運営資金支援をする事となりました。

私、個人の意見・・・お金を寄付して頂く事は本当に大変な事です。

今まで運営資金の寄付をして下さった方々には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

この施設の子供達が飢える事なく、学校へ行って勉強する事が出来、寝る場所も安全も確保して
これたのは心優しい皆様のお蔭です。本当に心より感謝しております。ただ・・・

今年から資金が無いと言う事は、お米を買う事も学校の授業料を払う事も水も買う事すら
出来なくなる・・・子供達は親に見捨てられたうえ愛情をそそがれる事も無く生活を送る事すら
出来なくなる・・・そんな事は絶対にさせない！！他の団体や企業がサポートしているなら
まだしも、どこも支援してないのにいきなり援助を切られたら・・・

子供達に飢え死にしろとでも言うのか？カンボジアの国も支援しないしどうしろと？

それを平気で支援を打ち切ると決めた一部の人間の人間性を疑う！どこの偉いさんか
経営者か団体の方か企業の方か宗教の方かわかりませんが・・・

これ以上書いたら私の人間性までおかしくなりそうなのでやめておこう・・・

これからは、NPO法人アジア子供輝基金、代表理事長倉橋文雄氏、副理事長の大西勝美氏
そして私も理事として、仲間と共にSKO孤児院の子供達をサポートさせて頂きます。



4月20日、この日は朝から次の日のバス旅行の為の買い出しに行ってからSKO孤児院へ飲み物を大量に購入問屋で買えば凄く安く買う事が出来ます。倉橋氏が「子供達にやるねん」とお菓子を配ってました。倉橋文雄氏は今回、アジア子供輝基金の代表に就任して下さいました。



倉橋氏の本業は経営コンサルタントをされていらっしゃいます。とっても心の優しいおじさんです。



そして今日もかき氷タイム！せっかくイチゴやレモンやブルーハワイのシロップを買って行ってるのにごちゃまぜです(汗)子供達よ・・・味がわかってますか??? (笑)でもとっても美味しそうに食べて何杯もオカワリしていました。やっぱりシロップを持って行って正解でした。子供達の笑顔を見ているとこちらが癒されます。子供達の笑顔に感謝感謝です。



そしてお昼からは子供達を連れて去年に出来た遊園地に連れて行きました。ローラーブレードも出来るんですよ。子供達はとっても呑み込みが早くて上手でした。私もチャレンジしましたが・・・(泣)



そしてプールで子供達は大はしゃぎです。しかし・・・去年より水が濁っているような・・・(笑)



そして楽しそうな子供達の姿を見守る大西副理事長、連れて来て本当に良かったですね。年頃の娘達はもう恥ずかしくてプールには入りません。(笑)しかしみんな大きくなりました。一番左にいる女の子がシフォンちゃんです。初めて会った時は13歳でした。そんな彼女ももう二十歳になります。スタイリストになりたいと言う事で二年前に専門学校へ行って現在は修行中でございます。その隣はスレイちゃん、結婚が決まりました。そしてその隣が

シフォンちゃんの妹のソパンちゃんです。現在、調理師になる為に修行中です。みんな私達が来るのを知っての里帰りでした。そして戻って来てから夕食の準備を手伝っていました。



この日・・・奥に立っている男の子
新しく入所した子供です。
親戚に連れられてやって来ました。
親が亡くなって親戚に面倒を見てもらって
いましたが貧しいのでもう面倒を見る事が
出来ないとの事・・・大西副理事長は
親戚の方々に言いました・・・



この子をあずけるのはかまわないけど
その変わりこの子が大きくなって
社会人になっても絶対に当てにしないで
下さい。貴方たちはこの子を見放すの
ですから・・・この子が働き出してお金を
たかるような事は絶対に許しません。
この子にはこの子の人生がある・・・
それを邪魔するような事は絶対に
しないで下さい。当然ですね。

そして私も夕食前に言いました。今日、新しい家族が増えました。みんな仲良くするように・・・
新しく入った男の子は親が亡くなってしまったと言う理由で親戚も貧しくて面倒が見れないと
言う事ですが、この施設にいる子供のほとんどは親が生きてます。中には虐待されて保護された
子供、人身売買で保護された子供・・・誰も好き好んでこの施設に来た訳ではありません。
色々な事情が有るにすれ、国を選んで生まれて来る事も、親を選んで生まれて来ることも
裕福な環境に生まれて来ることも選べません・・・実際に子供が施設に連れてこられて来た姿を
目の前にして、親戚の方に本当は凄い憤りを感じたのです。しかしここはカンボジアの国
貧しいと言えば日本では考えられないくらいとんでもない貧しさ・・・親戚と言えど自分達の生活で
精一杯なんです。貧困を仕方はないと言う考え方はしたくはありませんが、受け入れないと
子供達が路頭に迷ってしまう・・・この施設にいる子供達はみんな辛い過去を背負いながらも
助け合って頑張っています。この施設の子供達に夢と希望のある明るい未来を・・・



4月21日、朝4時半に起床

この日は去年の11月にSKOの子供達
と約束していたバス旅行に出発！
バタンバンから首都のプノンペンを経由
してカンボジアのリゾート地である
シアヌークビルへ向かいました。

ホテルからバスでSKO孤児院まで
子供達を迎えに行つて荷物を積み込み
朝6時に出発進行！子供達もリリ
でバスの中で大はしゃぎでした。4月に
カンボジアに行った時はSKOの子供達を
旅行に連れて行きます。決して贅沢を
させている訳ではありません普通の家族
なら、年に一回ぐらいの旅行はする
と思います。SKOの子供達も毎年楽しみに
してくれています。私達も子供達を連れて
の旅行は毎年楽しみにしています。

年に何度もカンボジアに行ければ良い
ですが本業のお仕事が疎かになっては
いけませんので、そこは我慢・・・

朝が早かったので途中でバスを止めて
朝食のお弁当を食べました。

お弁当は前日に注文しておりました。

しかし、子供達の食欲には毎回
驚かされます。中には余っていた
お弁当を食べる男の子もいて
そんな姿を見て嬉しくなります。

食べ物を粗末にせずきちんと

好き嫌いをせずに残さず食べています。そんな姿に私達の方が子供から学ばせて頂いております。



この女の子ソックソリンナーちゃんです。
私の仕事のお客様から頂いて
カンボジアに持って行かせて頂いた
長袖の子供服ですが、よほど気に
いったらしく、ずっと着てました。
暑いやろ～脱いどき～と言っても
言う事を聞きません・・・(笑)
サイズもちょっと小さいような・・・

それでもそれだけ気に入って着て貰えれば持って行かせて頂いた甲斐もあります。

お客様、本当にありがとうございました。そして心優しい日本の皆様、心より感謝致します。



バスで6時間半ほどかかってプノンペンに到着、空港にて倉橋さんとお別れです。子供達も
空港までお見送りです。子供達と抱擁を交わしていました。倉橋さんはお仕事の為、後ろ髪を
引かれる想いで、一足お先に日本へ帰られました。倉橋さん、お疲れ様でした。



シアヌークビルに向かう途中で休憩
みんな大きくなってきました・・・
初めてあった時は本当にガキンチョ
でした。今は思春期真っ只中の
悪ガキ共です。(笑)本当に人懐っこくて
可愛いです。何かあったらすぐに
パパ～と抱き着いてきます。私は
それが嬉しいのですが・・・(笑)

いつの日か自立して、自分達の夢を自分達の手で叶えてくれると私達は彼らを信じています・・・



彼の名前はリッティア君です。今年19歳の高校3年生になります。留年している訳ではありません。親には学校に行かせて貰えず施設に入ってから学校に行ったので行くのが一年遅れただけです。成績は学校で1番2番を争う勉強家！普段はとってもクールですが大西副理事長の手に

掛ければこの通り！(笑)大学進学を目指しています！何とか夢を叶えてあげたいです・・・



写真の真ん中に写ってるのはボルー君です。彼はトゥクトゥクと言う乗り物のドライバーです。バイクの後ろに荷車の付いたやつです。彼は英語が話せます。バタンバンに行った時は彼が専属ドライバーです。私達が行動する時はいつも同行して

もらってます。SKOにもちよこちよこ行って子供達の事をフェイスブックで教えてくれます。子供達皆の写真を送ってくれたり状況を報告してくれたりしてくれます。調子ノリなのがたまにキズ(笑)



約13時間かけてシアヌークビルへ到着です。さすがに日も暮れて夕食を食べに屋台へ・・・これ・・・アヒルの孵化する前の卵です。カンボジアの人はこれが大好物のようです。皆が食べた卵の数はな・なんと！！！！184個！！皆よほど好きなんですね！食文化の違いに本当にびっくりさせられます。前は、昆虫を美味しそうに食べてました・・・真っ黒な姿をした日本人が嫌いな奴に似た・・・私はさすがに無理でした・・・(笑)



この日は移動でみんなお疲れ様と

言う事でこの日はみんな就寝でした。

私はこっそりボールと一緒に抜け出して

お腹が減ったので夜食を食べに行きま

した。(笑) ちなみに・・・

今回のバス旅行の資金は大西副理事長

と私の自腹です。ほとんど大西副理事長の

オゴリですが(笑)カンボジアに行く旅費も

活動費も全て自腹です。誤解無きようにお伝えしておきます。どこかのNPO団体やNGO等とは

違い、寄付金・支援金から給料を取るような事も決してありませんし、直接支援金・寄付金は

現地に行って手渡ししています。なぜか・・・カンボジアの国や訳のわからないNGOやNPOの団体に

お金を渡しても搾取してまともに困っている人の所へは届きません。現に、政府関係者や軍人は

凄い裕福な暮らしをしています。首都プノンペンに行けば3台に1台がトヨタのランドクルーザーと

言うくらい走ってます。現地でも日本円にして1000万円ほどします。政府関係者の月給は70ドル

程度と言われています・・・どないやったら買えますか???はい、国に支援するのはムダですね。

私が恵んで頂きたいぐらいです・・・今回、帰る途中でも警察官に止められました。

いわゆる検問と言うやつです。ドライバーは免許を見せましたがその場で行きたければ

お金を出せと言っています。「絶対に出すな!」と言って断ったら上官の所へ行って

免許を見せてこいと言いました。何も悪い事をしていません。交通違反をしていたならわかりますが、

普通に走っていただけ、その道を通らなければいけないだけ!公共の場で堂々と警察官が

お金をせびって山分けしてるんです。カンボジアでは普通の出来事だそうです・・・

私達が車を降りて行ったら目も合わせない・・・なんで止めるねんと話かけても無視・・・

国家権力を利用して国から給料を得ている人間が平気で弱者からお金を奪う・・・

これがカンボジアの現状です・・・そりゃ、誰もカンボジアの警察官を尊敬しないですね・・・

と、言う事で子供の頃からの正しい教育が必要な訳です。これも内戦の負の遺産と言えるでしょう。

そして、子供達には何の罪もありません。正しい教育を受ければ正しい判断が出来るように

なるはず・・・これから未来を担う子供達の中にカンボジアの救世主となる人間が現れるかも

知れませんそんな子供達が育ってくれる事を願いながら・・・



4月22日、この日はカンボジアの海に面するリゾート地、シアヌークビルにある島に渡るので昼食の買い出しに市場に行きました。凄い賑わいようでびっくりしました。さすが海に面した都市なんで、漁業も盛んなようで、新鮮な食材がいっぱい！しかも、めっちゃ安かったです。渡り蟹の生きたやつで2キロでなんとっ！1800円也！シャコ海老がめっちゃデカかったです。



サメもいます。イカも新鮮です、この日水揚げされたであろうエイです。これも食べるんでしょうね。



浮き輪も買っていざ海へ！ここがシアヌークビルのビーチです！なかなか綺麗でところで海水も透き通っています。街並みも結構整備されていてこれからは観光地として有名になって行くのではないかと思います。交通手段が困りますけどね。空港があれば・・・



遊覧船もありました。船をチャーターして海をわたりました。景色も最高に良かったです。



島に到着して早速昼食の準備、子供達のほとんどが海を見る事が初めての経験です。

感動した人～！と聞くとご覧の通りです。連れて来て本当に良かったです。



みんな海に入って大はしゃぎです！これだけ喜んでくれたら本当に本望です。日本ではやっぱり当たり前のように子供の頃から親に海に海水浴に連れて行ってもらったりしてる事がカンボジアの子供達にとって当たり前では無い・・・



写真撮って〜っと砂浜に文字を書く・・・ONISHIと書いてあります。よほど海にこれた事が嬉しかったんでしょうね・・・子供なりに感謝の気持ちを伝えたかったんですね・・・



島から離れ一旦ホテルに戻って来て
またまた海岸に行きました。

彼がSKO孤児院の責任者である
ヌーボラ氏です。その隣に居るのが
ヌーボラ氏の奥さんです。

色々大変でしょうが子供達の事
よろしく頼みます・・・

そして下の写真の二人は兄弟です。

姉のスレイちゃんはこの時は婚約中
でしたが5月に結婚をしています。
兄弟でおねえちゃんも独身最後の
兄弟旅行となりました・・・

いい思い出になってくれている事と
思います。とっても幸せな時間を
過ごさせて頂きました。

カンボジアでは内戦前800万人いた人口の内200万人が内戦の犠牲者になりさらに
100万人が病気や飢えで亡くなられたと聞いています・・・戦後は500万人の人口でしたが
今現在では1400万人まで人口が増えていると聞いています。つまり若い世代が凄く多いです。
戦後当時は衛生環境も悪く、生まれた子供の4人に1人は5歳までに飢えや病気で亡くなって
いたそうですが、今現在では12人に1人の割合にまで上がって来ているとの事です。



そして、夕食を砂浜で食べました。シャコ海老のから揚げがすごく美味しかったです。
 大きさも日本の1.5倍はありました。みんなで食べたその数は・・・なんと！200匹以上・・・
 恐るべし・・・子供達(笑)値段はめっちゃ安いんですよ！その後は普通に食事をとらせて
 頂きました。本当に楽しくとっても充実した一日でした。 食事が終わってホテルに帰り



その日はゆっくり休みましたが
 横の写真は私達が食べた残り物を
 食べているストリートチルドレン・・・
 改めて貧富の差と国の違いを実感
 させられる・・・色々問題もありますが
 やはり日本の国は恵まれている。
 少なくともストリートチルドレンのような
 子供は日本にはいないと思います。

普通に生活が送れると言う事がいかに有りがたい事か・・・小さな頃から何不自由なくご飯を
 食べる事ができ、学校にも行かせてもらい、雨風しのげる家もあり、病気になれば薬もあり、
 水道の蛇口をひねれば水も飲める・・・一部の恵まれない子供達も日本にいる事は事実ですが
 カンボジアは環境が違い過ぎる。日本人に生まれてきて私は本当に良かったと思う・・・
 毎回、カンボジアに来て思う事ですが、日本人に生んでくれた親に感謝する・・・
 カンボジアの国では貧しいとか、次元が違い過ぎる。そんな中でも頑張っ生きて行こうと努力
 している人の姿に私はいつも感動しています・・・そして、SKO孤児院の子供達にも・・・
 この施設の子供達が幸せな生活を送る事が出来ますように・・・また、将来自立して人の心の
 痛みのわかる心優しい立派な大人に成長してくれる事を心より願います。
 そして同じような境遇の子供達が少しでも減ることを心より切望します・・・



今日でシアヌークビルともお別れ
です。午前中は砂浜に行って
子供達と遊び、市場へ寄ってお土産
を買ってバスに乗って帰路へ・・・
途中、アクシデントもありましたが
プノンペンで1泊してバタンバンに
戻りました。生かされている事に感謝、



最後のお別れ・・・この時が一番辛いです。子供達にまた来るからねと挨拶をしてSKO孤児院を後にしました。長々と・・・私ごときの記事に付き合ってくれた皆様・・・本当にありがとうございました。今回も心優しい皆様のお蔭でカンボジアの支援活動をさせて頂く事が出来ました。何分、文章や表現力・さらに私自身の人間力無きゆえ、不可解な事や気分を害される事もあったかと思ひます。心よりお詫び申し上げます。支援の仕方は色々です。SKO孤児院の支援も医療的な観点から支援して頂いているありがたい日本の団体もございます。本当に心より感謝です。諸外国の方々も応援してくれている団体もあります。私達は私達の出来る分野の事しか出来ませんが、全ては、何とか自分の出来る事をしようと思つて下さる皆様のお蔭です。共に成長し、共に我が人生に悔い無し・・・のような生き方が出来るように頑張れたら・・・難しい事ですけどね 「人生自体が気狂いじみているとしたら一体、本当の狂気とは何だ！「夢」に溺れて現実を見ないのも狂気かも知れぬ・・・現実のみを追って「夢」を見れないのも狂気だ・・・しかし・・・一番憎むべき狂気とは・・・あるがままの人生に折り合いを付けてあるべき姿の為に戦わないことだ！」ドンキホーテの言葉より・・・私達は戦い続けます・・・

あるべき姿の為に・・・